

まちなか活性化推進事業



イベントの開催などにより多くの人々を集めるまちなかの商店街(佐世保市)



便利なまちなかに建設され、人気の高い高齢者向けの賃貸住宅(島原市)

このため、県では、市町と住民、商業者が協働して「まちなか」の活性化に取り組む場合に、それを総合的に支援する制度を立ち上げました。基本計画の作成、商店街の振興、まちなか居住の推進、公共施設の整備・改善、公共交通の利便向上などに関する事業に対し、情報提供や助言を行うほか、効果が高いと認められる事業には費用の一部を補助します。

ま た、住民の皆さんや商店街が主体となった取り組みについても、要件が合えば公的な支援を受けることができますので、下記の窓口へお問い合わせください。

今 後、各地で計画づくりが始まりますが、その際には、ワークショップや検討会などが開催される予定です。少しでも多くの方々にご参加いただき、活性化に向けた様々なアイデアが出されることを期待しています。

と ころが、最近、この「まちなか」の空洞化が目立ってきました。自家用車の普及

皆 さんは「まちなか」というと、どのような場所を思い浮かべますか。商店街や多くの公共施設が集まった拠点的な地区のことですが、各市町の市役所・町役場(合併前の町役場も含む)周辺の市街地や集落をイメージすれば分かりやすいかもしれません。

こ れから、人口減少と超高齢化が加速度的に進むことを考えると、「まちなか」に様々な機能を集め、そこへ行けば暮らしのニーズをひと通り満たせるような環境を整える必要があります。

に伴い、郊外で宅地開発や商業施設の立地が相次いだため、「まちなか」に住む人や訪れる人が減り、賑わいが失われてしまったのです。



住民の意見を取り入れ、歩行者優先の整備が行われたまちなかの道路(長崎市)



周辺市街地に住む高齢者などの足となっている買い物巡回バス(五島市)